

令和8年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	高瀬渓谷フェスティバル	事業経緯	継 続	実施体制	実行委員会	担当所属	長野支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業			事業区分	キャンペーン、〇〇月間

1. 事業目的

国土交通省及び林野庁は、毎年7月21日から31日までの10日間を「森と湖に親しむ旬間」として定め、都道府県、市町村等とともに全国で様々な行事を実施している。この旬間は昭和62年度に始まり、森林や湖に親しむことによって心と体をリフレッシュしながら、森林やダム等の重要性について国民に理解してもらうことを目的としている。

大町ダムにおいても、例年「高瀬渓谷フェスティバル」を開催し、森林やダム湖のもっている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割等への理解向上を図っている。

2. 事業実施体制

主 催：森と湖に親しむ旬間実行委員会

長野県大町建設事務所、大町市、(一社)大町市観光協会、
東京電力リニューアブルパワー(株)高瀬川事業所、
(株)レゾナック・グラフィット・ジャパン、北安中部漁業協同組合、
NPO法人ぐるったネットワーク大町、国営アルプスあづみの公園管理センター、
林野庁中信森林管理署、国土交通省大町ダム管理所、(一社)北陸地域づくり協会、
(株)建設マネジメント北陸東

協 賛：国土交通省松本砂防事務所・千曲川河川事務所

3. 事業実施概要

日 時：令和8年7月18日(土) 9:00～15:00

場 所：大町ダム

実施概要：

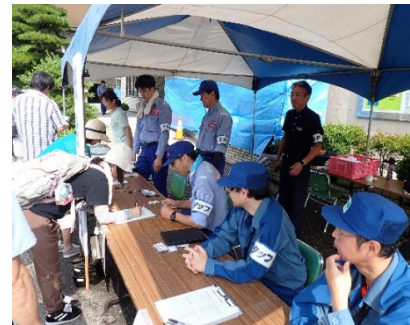
- ・ダム内部見学(15人程度を1グループとして堤体内を案内)
- ・水利システム・大町ダム等再編事業・千曲川緊急治水対策プロジェクトの資料展示
- ・クイズラリー(会場内を周回)
- ・大町発電所内部見学(8人程度を1グループとして発電所内を案内)
- ・ネイチャークラフト(木の実や飾り物をつかって製作)
- ・降雨体験/砂防事業パネル展示
- ・地震体験(過去に発生した6つの大地震を体験)
- ・缶バッチ手作り体験(オリジナル缶バッチ製作)
- ・うちわをつくろう

参加者：約350人

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本事業は昭和63年から開催され(令和2、3年度はコロナ禍で中止)、今回で37回を数え地域に根づいた催事となっている。

各種イベントを通じ森と湖に親しむ機会を提供することによって、参加者の心身をリフレッシュし、明日への活力を養うとともに地域の活性化に寄与している。また、ダム内部見学、木工品作りなどを通じてダムや河川、森林等の重要性について関心を高め、理解を深める効果が期待される。



総合受付



地震体験



ダム見学

